

平成 22 年度 第 3 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 22 年 11 月 13 日(土) 16:00～18:30
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者：林委員長，中嶋委員，望月委員，碓井委員，渡邊委員
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，松本職員

IV. 議事概要

検討に入る前に，事務局より配布資料について説明あり．学士力を実現するためにどのように授業を工夫するか，デザインするか，従来型のコンテンツ提示型(放送型)ではない ICT 活用授業の展開，学生が生涯にわたる学びを身に着けることが肝要であること，議論して振り返り学習をする習慣づけ，5 年先の授業デザインを行うことなどを確認した．

1. 検討内容 学士力実現に必要な ICT 活用の具体的な検討について

前回の検討課題に関する議論として，各委員から以下のようなモデル授業案とその特徴等報告があった．

- (1) 日本経済論(学士力到達目標：2)
予習必須型教育モデル. ICT を活用して予習・復習を行う(100～200 名程度の受講生規模).
- (2) 経済開発論(学士力到達目標：5)
e ポートフォリオと e 能力アセスメントを活用．チーム単位での学習(プロジェクト型学習). 授業をライブで収録し，復習等で活用.
- (3) ミクロ経済学入門(学士力到達目標：1 および 2)
Web 授業(マルチメディア教材)+プレゼン資料+板書(授業では板書主体)のブレンド型授業，学生の読み書き主体，リカレント教育にも対応しうる授業
- (4) コンピュータと経済学(学士力到達目標：1, 3, 4 および 5)
コンピュータシステムの理解とともに，経済学の面白さを学生に伝える・学生自ら体験する，経済学の学びを通じて社会を知る，達成感，自信をつける授業，掲示板システムによる多方向性授業の展開.
- (5) 演習と卒論
査読付き懸賞論文報告会の開催．事前に Skype による共同作業・グループ学習，プレゼンビデオ撮影等，Web 上にビデオや論文を公開してコピー&ペースト(剽窃的内容を含むような)論文とにならないような工夫.

これらの報告中あるいは報告後において様々な意見交換が行われたが，5 年先を視野に入れた授業デザインにおける考慮すべき点について，主なものを列挙する．

- 学生全体の学士力の底上げをしたうえで，できる学生を伸ばす工夫も必要.たとえば，ICT を活用して教育クラウドを構築し，大学間での教育連携，大学間教育コンテスト，経済学の試験等を実施する工夫など.
- 復習する，授業内容をまとめることの重要性，予習なしで授業に出席し，黒板を写す

のみで復習もしないという悪循環を断ち切る工夫。

- 経済学を学習するモチベーションを高める工夫として、少人数のクラス編成、グループ学習での競争意識を持たせる。
- 「学士力」での学びを身につけさせるためには、「プロジェクト学習」が有効。
- 「少人数クラス」といっても教員側に何らかの問題があり、結果的に「少人数クラスになってしまっている」ことと「少人数クラス編成」では意味が異なるので峻別が必要。教員側に教育上の問題点があるとすれば、これは改めなければならない。
- 教育をマネジメントする能力が教員には必要であるが、それが欠けている。
- 教員一人で授業を行うのではなく、大学院生・外部講師(OB・OG)等「先輩学生」による「ファシリテーター」の導入によって分業化する。
- 「学士力」実現の大きな障害の一つに、3年次後半から始まる就職活動がある。この弊害に対しては、4年間きちんと勉学に励める環境構築、教育システムの再構築が必要。
- 「学士力到達度」の評価方法として、eラーニングシステムにてビデオによる口頭試問を行い、学生に設問に対する回答(意見や考え方)を答えさせる(入力させる)方法を導入する。

以上の議論を踏まえて、当委員会では、以下の2点の基本方針で授業モデル案を作成するに至った。

① プロジェクト型授業モデル

学生自身が主体的にチーム参加することを通じて、リーダーシップ・協調性などを養成し、互いに競争意識を持ちながら学習意欲を高める授業モデル。

② グループワーク型授業モデル

専門基礎・基本・導入科目を念頭においた中・大規模クラスを想定し、10人以下のグループに分け、ファシリテーターを導入してメンバー間でのコミュニケーションを通じた授業モデル。

2. 検討課題

12月第1週末を目途に、上述の①と②の授業モデルのたたき台を2名の委員が担当し、これに関して各委員よりレビューを行う(12月中旬まで)。その後、12月中にサイバーFD研究員に授業モデル案を示し、1月末を目途にパブリックコメントを得る。その後、2月～3月に中間まとめを委員会にて議論する。

V. 次回の開催日程

日時：平成23年2月～3月を予定(詳細は、メールにて連絡)

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上